
大会長講演 | 大会長講演 | 口の終いを考えるーしあわせのための “くち” を守り、最期まで寄り添うー

大会長講演

口の終いを考えるーしあわせのための “くち” を守り、最期まで寄り添うー

座長：水口 俊介（日本老年歯科医学会 理事長／東京医科歯科大学 教授）

2023年6月17日(土) 08:45 ～ 09:35 第1会場 (1階 G4)

[PL]口の終いを考えるーしあわせのための “くち” を守り、最期まで寄り添うー

○菊谷 武¹ (1. 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長・教授)

【略歴】

日本歯科大学 教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

1988年 日本歯科大学歯学部卒業

2001年10月より 附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター センター長

2005年4月より 助教授

2010年4月 教授 2012年1月

2012年10月 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

【抄録 (Abstract)】

「くち」は食べる時に、話をする時に、そして息をする時に、はたまた家族や恋人と愛を交わす時に活躍します。くちは、生きるためのそしてしあわせのための器官といえます。

私たちは、「おいしい」を伝えるこの口を、そして、天寿を全うする際に「ありがとう」を発するこの口を絶え間なく支えていかなければなりません。

生きるためのそしてしあわせのための器官である「くち」を守るために、私たちは何ができるのか、何をしなければならないのか、いま、何が足りないのか？ とともに、考えてみたいと思います。